



# Megaptera

発行；小笠原ホエールウォッチング協会 (OWA) 東京都小笠原村父島字西町 04998-2-3215  
 メガプテラ=ギリシャ語で「大きなヒレ」 04998-2-3500 (FAX)

母島とザトウクジラ  
 撮影…望月昭伸



## 今シーズンの初クジラ

### 「ははじま丸」で発見!

小笠原もすっかり寒くなりましたが冷たい風も荒れる海もなんのその、待ちに待ったクジラの熱い季節の始まりです。

今シーズンのクジラ発見の第一報はホエールライナー「ははじま丸」の船長さんでした。任期を終え、「おがさわら丸」に乗る直前の船長さんに突撃インタビュー!

Q、クジラを見た日時と場所は?  
 A、十二月十二日、午後三時頃です。ちょうど父島と母島の中間ですね、父島へ向かっているときです。

Q、そのときのクジラの様子は?  
 A、えーと、あときは潮吹きと、跳ねたのかな。一頭でした。

Q、「ははじま丸」ではどのくらいクジラを見ることが出来ますか?  
 A、今年に入ってから毎航海見えています。ただ、遠い近いはありますが、船のすぐ脇でジャンプも、ただしそれは一回か二回のチャンスし



かないですけれど。お客さんに見せてあげようと思って注意して観察はしてるんですけどね、白波立つと潮吹きが見えないからやっぱり探しきれないですね。

Q、見つけたときの船内放送のサビスは?  
 A、見つけると船内放送はします。ただクジラの場合によっては見えなくなることもあるんですね、案内した後に……

Q、クジラをはじめてみたときの感想は?  
 A、漁船のとき(島に)一回来たけどそのときはクジラなんて別に……今はジャンプすればね全体見えたこともありますが、そんな時は大したものだなと思いました。数も増えてきてると思いますよ。

これから内地へ帰るといって慌ただし中、少し照れながらも終始ニコニコとインタビューに答えて下さいました。ホエールライナーと呼ばれる「ははじま丸」では、毎航海のようにホエールウォッチングができるとのこと。島のウォッチングに加えて往復の船、と母島でクジラ三昧はいかがでしょう

か。  
 小笠原にやってくるクジラの数が増えているのでしょうか、今年はや早い時期からクジラ観察の話が多く聞かれるような気がします。クジラへの興味も年々高まっているのでしょうか。いつまでも、クジラが安心してやって来られる小笠原の海であってほしいものです。